



2018年3月20日

〒102-8282
東京都千代田区紀尾井町 1-3
紀尾井塔ヤ
ヤフー株式会社
代表取締役社長
宮坂 学殿

ヤフー・ジャパン社に象牙の宣伝及び販売の即刻停止を求める件について

宮坂 学殿

環境調査エージェンシー（EIA）と、下記の 43 の環境保護団体は、ヤフー・ジャパン社にその販売サイト・オークションサイトでの象牙の販売を完全に禁止することをお願いします。

EIA と下記 43 団体は、急速に減少しつつあるアフリカゾウの個体数に関する懸念を御社も共有されていると考えており、また、最近の御社による違法象牙の取引防止に向けたお取り組みに感謝いたします。残念ながら、その御社による対応や他の民間セクターによる違法象牙の取引防止に向けた努力にも関わらず、日本政府の実施する象牙市場管理システムのもとでは根本的に規制は機能しておらず、民間セクターがそれぞれの管理するネットや店頭などで違法象牙が販売されることを検知するまたは防ぐことは不可能です。

日本政府は、ワシントン条約（CITES）で義務付けられているような国内の「川上」における象牙取引の管理を実行できていません。特に、日本政府が、登録の条件として牙の法的由来や取得に関して本物の証拠を義務付けていないこと、登録した牙に印をつけていないこと、牙を実際に検査できないことは、現在のシステムでは違法な牙が国内市場に入っても検知できず、また、それを防ぐことができないという事です。

我々は、川上の取引で証拠書類を法的に義務付けるよう日本の「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」が改正されないことにも懸念を抱いています。長いこと日本の国内象牙管理制度が持ってきた根本的な問題が、現在も以前として存在しており、最近行われた種の保存法の改正ではこうした深刻な欠点を改善することはできません。今回の改正は川下での取引に関するそれほど重要でない措置に特化しており、牙の由来あるいは取得についての法的証拠なしに牙を登録するという、川上での取引の重大な問題点については改善されないままです。

最近の証拠を見れば、いとも簡単に違法象牙が規制管理の抜け穴を利用してロングリングされ、日本市場、そして御社のショッピングサイトで取引されてしまうことが証明されています。例えば、覆面調査の結果、日本自然環境研究センター（JWRC）の職員が象牙登録の申込者に牙の全形登録に必要な文書を偽装する方法を教えたことがわかっています。2017 年、警視庁は古物商会社のラフテルの社長及びその顧客 27 名を未登録の象牙を違法に取引し種の保存法に違反したとして書類送検しています。メディアの報告によればラフテルの社長は明らかに偽造文書と知りながら JWRC の職員が以前に違法な牙を登録する方法を教えたと言われています。ラフテルは過去 5 年で 400～500 本の牙を登録しています。

国内管理に効果がないため、大量の由来不明な牙が違法に販売される結果を招いています。これらの違法な牙はしばしば印鑑の材料として加工され、オンラインで簡単に販売することができます。例えば、2011 年に東京地方裁判所は未登録の違法象牙を牙で 58 本購入したとして、当時タカイチ社会長であり日本象牙美術工芸協同組合の前会長であった高市景夫氏に有罪判決を言い渡しています。2005 年から 2010 年の間に、タカイチ社が印鑑を製造するために使用した未登録の牙は 572 本から 1622 本と推定されます。これは、この期間日本で製造された印鑑の 31% から 87% にあたります。

2016 年、ワシントン条約第 17 回締約国会議では、締約国は密猟や違法取引の原因であるとしてすべての象牙市場を閉鎖することを呼びかける決議が採択されました。現在では、象牙市場はすべて、違法象牙の取引を引き起こすということは広く認識されています。アフリカゾウの生息国のほとんどが象牙取引の禁止を支持しています。米国では 2016 年に象牙取引を禁止、中国の象牙禁止も 2018 年 1 月 1 日に発行しました。中国に次いで象牙の消費大国であるのは日本です。





中国当局が日本から密輸された象牙を押収していますが、2009年からで5.8トンにのぼっています。環境省も、2011年から2016年の間に中国当局の押収した日本からの密輸象牙の数は100件にのぼっていることを認めています。ある中国のシンジケートは、2010年から2012年の間にヤフー・ジャパン社のサイトで購入し密輸した象牙が3.2トンであったことを認めています。

最近 TRAFFIC ジャパンが発行した報告書では、日本が違法象牙取引の原因を作っているという「無視できない証拠」があるとしています。TRAFFIC は、日本におけるオンラインの象牙取引を禁止することを勧告しており、さらに日本が象牙市場を閉鎖することを呼びかけています。2017年、楽天、イオン、メルカリなど日本の大手企業はゾウを保護する方針を決め、象牙販売を辞めるあるいは辞めることにコミットし、違法取引に加担するリスクを排除することを決めています。

管理を強化し象牙アイテムの監視を増やすというヤフー・ジャパン社のされた努力にも関わらず、日本政府が種の保存法のもと定める管理では、違法象牙が市場へ入るのを防ぐことはできません。従って、御社は違法象牙を既存のシステムでは回避しきれないのです。象牙取引を終了することだけが、日本国内の違法象牙販売を防ぐ唯一の手段です。

我々は重ねて、ヤフー・ジャパン社の違法象牙取引を防ごうとするコミットメントには感謝いたします。

本件について、担当者の方と電話でお話させていただきたく、お願い申し上げます。この手紙を受け取られたら、メールでご連絡いただけないでしょうか。その際に、いっお電話でお話できるかを調整させていただければと存じますので、まずは環境調査エージェンシーのエイミー・ゼツツ・クロークまでご連絡いただけますようお願いいたします。連絡先は以下となっております：amyzets@eia-global.org または電話 +1 202-483-6621 お忙しいところ恐縮ですが、どうぞよろしくお願いたします。

環境調査エージェンシー
プレジデント
アラン・ソートン, OBE

他：

Kaddu K. Sebunya, President, **African Wildlife Foundation** (アフリカ野生生物基金、プレジデント)

Jill Robinson MBE, Dr med vet hc, Hon LLD, Founder & CEO, **Animals Asia Foundation** (アニマルズ・アジア基金、創業者&CEO)

Nadia Adawi, Executive Director/General Counsel, **Animal Welfare Institute** (アニマルウェルフェア・インスティテュート、執行取締役/顧問弁護士)

Howard Jones, Chief Executive Officer, **Born Free Foundation** (ボーン・フリー基金、CEO)

Prashant K. Khetan, Esq., Chief Executive Officer & General Counsel, **Born Free USA** (ボーン・フリーUSA、CEO & 顧問弁護士)

Chris Mercer, Director, **Campaign Against Canned Hunting** (キャンド・ハントに反対するキャンペーン、取締役)

Sarah Uhlemann, International Program Director & Senior Attorney, **Center for Biological Diversity** (生物多様性センター、国際プログラムディレクター&上席弁護士)

Rob Brandford, Executive Director, **The David Sheldrick Wildlife Trust** and iworry Campaign (デイビッド・シェルドリック野生生物トラスト、執行取締役)

Karen Botha, Chief Executive Officer, **David Shepherd Wildlife Foundation** (デイビッド・シェパード野生生物基金、CEO)

Ofir Drori, Founding Director, **The EAGLE Network** and Founder/Director, **The Last Great Ape Organization** (EAGLE ネットワーク、創設取締役およびラスト・グレート・エイプ・オーガニゼーション、創設者 & 取締役)

Luc Mathot, Co-Founder, **The EAGLE Network** and Director/Founder, **Conservation Justice** (EAGLE ネットワーク、共同創設者およびコンサベーション・ジャスティス、取締役 & 創設者)

Andrea Crosta, Executive Director & Co-Founder, **Elephant Action League** (エレファント・アクション・リーグ、執行取締役 & 創設者)

Kelly Landen, Co-Founder & Program Manager, **Elephants Without Borders** (国境のないゾウ、共同創設者 & プログラムマネージャー)



Petter Granli, President and CEO and Joyce Poole, PhD, Scientific Director, **ElephantVoices** (エレファント・ヴォイス、プレジデント&CEO および科学ディレクター)



Allan Thornton, OBE, President, **Environmental Investigation Agency** (EIA、プレジデント)

Donalea Patman OAM, Founding Director, **For the Love of Wildlife Ltd** (野生生物への愛、Ltd.、創設ディレクター)

Harris Taga, Founder & CEO, **Friends of Maasai Mara** (マサイマラの友、創設者&CEO)



Dr. Christian Felix, Birgit Hampl, and Heike Henderson-Altenstein, Executive Board, **Future for Elephants e.V.** (ゾウの未来、執行役員)

Christine Mulholland, President, **Generation Awakening** (ジェネレーション・アウェークニング、プレジデント)

Rosemary Alles, President and GMFER Core Team, **The Global March for Elephants and Rhinos** (ゾウとサイのグローバルマーチ、プレジデント&GMFER コアチーム)



Michael O'Sullivan, Chairman & CEO, **The Humane Society of Canada** (カナダ人道協会、会長&CEO)

Iris Ho, Program Manager – Wildlife, **Humane Society International** (国際人道協会、野生生物マネージャー)

Dr. Toni Frohoff, Elephant Scientist, **In Defense Of Animals** (イン・ディフェンス・オブ・アニマルズ、ゾウ研究者)

Grace Ge Gabriel, Asia Regional Director, **International Fund for Animal Welfare** (国際動物福祉基金、アジアリジョナルディレクター)



Masayuki Sakamoto, Executive Director, **Japan Tiger and Elephant Fund** (日本トラ・ゾウ基金、執行取締役)

Motokazu Ando, President, **Japan Wildlife Conservation Society** (野生生物保全論研究会、プレジデント)

Zak Smith, Director, Wildlife Trade Initiative, **Natural Resources Defense Council** (自然資源防衛協議会 (NRDC)、野生生物取引イニシアチブ取締役)



Barbara Mackraz, Founder & CEO, **OliveSeed Foundation** (オリーブ・シード基金、創設者&CEO)

Dr. Christoph Schmidt, Chair of the Board, **ProWildlife** (プロ・ワイルドライフ、会長)

Thomas Töpfer, Chairman, **Rettet die Elefanten Afrikas e.V.** (アフリカゾウの保護 e. V.、会長)

Charlotte Nithart, Director, **Robin des Bois** (ロビン・デュ・ボワ、取締役)

Frank Pope, Chief Executive Officer, **Save the Elephants** (セーブ・ザ・エレファント、CEO)

Trevor Jones, PhD, Director, **Southern Tanzania Elephant Program** (南タンザニアゾウプログラム、取締役)

Ann Michels, Executive Director, **Species Survival Network** (スピーシーズ・サバイバル・ネットワーク、執行取締役)

Airi Yamawaki and Dr Asuka Takita, Co-Founders and Co-Directors, **Tears of the African Elephant** (アフリカゾウの涙、共同創設者、共同創設者&取締役)

Peter Knights, Chief Executive Officer, **WildAid** (ワイルドエイド、CEO)

Felix Olusola Abayomi, Founder and CEO, **Wildlife of Africa Conservation Initiative** (アフリカ野生動物保護イニシアチブ、創設者&CEO)

Dr. Paula Kahumbu, Chief Executive Officer, **WildlifeDirect** (ワイルドライフ・ディレクト、CEO)

Julie Sherman, Executive Director, **Wildlife Impact** (ワイルドライフ・インパクト、執行取締役)

Belinda Wright, OBE, Executive Director, **Wildlife Protection Society of India** (インド野生動物保護協会、執行取締役)

Alesia Soltanpanah, Executive Director, **World Animal Protection US** (アメリカ世界動物保護、執行取締役)

CC: シニアエグゼクティブバイスプレジデント執行役員&COO 川邊 健太郎殿

取締役 宮内 健殿

取締役 ジョナサン・ブロック殿

社外取締役 アーサー・チョン殿

社外取締役 アレクシ・A・ウェルマン殿

副社長執行役員・CFO 大矢 俊樹殿

執行役員・副社長・顧問弁護士 別所 直哉殿

北米地域統括責任者 Mr. Toshiaki Chiku

執行役員・副社長・SR 推進統括本部長 西田 修一殿





2018年3月20日

〒105-7303
東京都港区東新橋 1-9-1
ソフトバンクグループ
ソフトバンクグループ取締役会長・CEO
Sprint Corporation 理事会会長
ヤフー株式会社取締役
孫 正義殿

ヤフー・ジャパン社に象牙の宣伝及び販売の即刻停止を求める件について

孫 正義殿

環境調査エージェンシー（EIA）と、下記の 43 の環境保護団体は、ヤフー・ジャパン社にその販売サイト・オークションサイトでの象牙の販売を完全に禁止することをお願いします。

EIA と下記 43 団体は、急速に減少しつつあるアフリカゾウの個体数に関する懸念を御社も共有されていると考えており、また、最近の御社による違法象牙の取引防止に向けたお取り組みに感謝いたします。残念ながら、その御社による対応や他の民間セクターによる違法象牙の取引防止に向けた努力にも関わらず、日本政府の実施する象牙市場管理システムのもとでは根本的に規制は機能しておらず、民間セクターがそれぞれの管理するネットや店頭などで違法象牙が販売されることを検知するまたは防ぐことは不可能です。

日本政府は、ワシントン条約（CITES）で義務付けられているような国内の「川上」における象牙取引の管理を実行できていません。特に、日本政府が、登録の条件として牙の法的由来や取得に関して本物の証拠を義務付けていないこと、登録した牙に印をつけていないこと、牙を実際に検査できないことは、現在のシステムでは違法な牙が国内市場に入っても検知できず、また、それを防ぐことができないということです。

我々は、川上の取引で証拠書類を法的に義務付けるよう日本の「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」が改正されないことにも懸念を抱えています。長いこと日本の国内象牙管理制度が持ってきた根本的な問題が、現在も以前として存在しており、最近行われた種の保存法の改正ではこうした深刻な欠点を改善することはできません。今回の改正は川下での取引に関するそれほど重要でない措置に特化しており、牙の由来あるいは取得についての法的証拠なしに牙を登録するという、川上での取引の重大な問題点については改善されないままです。

最近の証拠を見れば、いとも簡単に違法象牙が規制管理の抜け穴を利用してロングリングされ、日本市場、そして御社のショッピングサイトで取引されてしまうことが証明されています。例えば、覆面調査の結果、日本自然環境研究センター（JWRC）の職員が象牙登録の申込者に牙の全形登録に必要な文書を偽装する方法を教えたことがわかっています。2017 年、警視庁は古物商会社のラフテルの社長及びその顧客 27 名を未登録の象牙を違法に取引し種の保存法に違反したとして書類送検しています。メディアの報告によればラフテルの社長は明らかに偽造文書と知りながら JWRC の職員が以前に違法な牙を登録する方法を教えてくれたとされています。ラフテルは過去 5 年で 400～500 本の牙を登録しています。

国内管理に効果がないため、大量の由来不明な牙が違法に販売される結果を招いています。これらの違法な牙はしばしば印鑑の材料として加工され、オンラインで簡単に販売することができます。例えば、2011 年に東京地方裁判所は未登録の違法象牙を牙で 58 本購入したとして、当時タカイチ社会長であり日本象牙美術工芸協同組合の前会長であった高市景夫氏に有罪判決を言い渡しています。2005 年から 2010 年の間に、タカイチ社が印鑑を製造するために使用した未登録の牙は 572 本から 1622 本と推定されます。これは、この期間日本で製造された印鑑の 31% から 87% にあたります。

2016 年、ワシントン条約第 17 回締約国会議では、締約国は密猟や違法取引の原因であるとしてすべての象牙市場を閉鎖することを呼びかける決議が採択されました。現在では、象牙市場はすべて、違法象牙の取引を引き起こすということは広く認識されています。アフリカゾウの生息国のほとんどが象牙取引の禁止を支持しています。米国では 2016 年に象牙取引を禁止、中国の象牙禁止も 2018 年 1 月 1 日に発行しました。中国に次いで象牙の消費大国であるのは日本です。



Animal Welfare Institute
www.awionline.org





中国当局が日本から密輸された象牙を押収していますが、2009年からで5.8トンにのぼっています。環境省も、2011年から2016年の間に中国当局の押収した日本からの密輸象牙の数は100件にのぼっていることを認めています。ある中国のシンジケートは、2010年から2012年の間にヤフー・ジャパン社のサイトで購入し密輸した象牙が3.2トンであったことを認めています。

最近 TRAFFIC ジャパンが発行した報告書では、日本が違法象牙取引の原因を作っているという「無視できない証拠」があるとしています。TRAFFIC は、日本におけるオンラインの象牙取引を禁止することを勧告しており、さらに日本が象牙市場を閉鎖することを呼びかけています。2017年、楽天、イーオン、メルカリなど日本の大手企業はゾウを保護する方針を決め、象牙販売を辞めるあるいは辞めることにコミットし、違法取引に加担するリスクを排除することを決めています。

管理を強化し象牙アイテムの監視を増やすというヤフー・ジャパン社のされた努力にも関わらず、日本政府が種の保存法のもと定める管理では、違法象牙が市場へ入るのを防ぐことはできません。従って、御社は違法象牙を既存のシステムでは回避しきれないのです。象牙取引を終了することだけが、日本国内の違法象牙販売を防ぐ唯一の手段です。

我々は重ねて、ヤフー・ジャパン社の違法象牙取引を防ごうとするコミットメントには感謝いたします。

本件について、担当者の方と電話でお話させていただきたく、お願い申し上げます。この手紙を受け取られたら、メールでご連絡いただけないでしょうか。その際に、いっお電話でお話できるかを調整させていただければと存じますので、まずは環境調査エージェンシーのエイミー・ゼッツ・クロークまでご連絡いただけますようお願いいたします。連絡先は以下となっております：amyzets@eia-global.org または電話 +1 202-483-6621 お忙しいところ恐縮ですが、どうぞよろしくお願いたします。

環境調査エージェンシー
プレジデント
アラン・ソートン, OBE

他：

Kaddu K. Sebunya, President, **African Wildlife Foundation** (アフリカ野生生物基金、プレジデント)

Jill Robinson MBE, Dr med vet hc, Hon LLD, Founder & CEO, **Animals Asia Foundation** (アニマルズ・アジア基金、創業者&CEO)

Nadia Adawi, Executive Director/General Counsel, **Animal Welfare Institute** (アニマルウェルフェア・インスティテュート、執行取締役/顧問弁護士)

Howard Jones, Chief Executive Officer, **Born Free Foundation** (ボーン・フリー基金、CEO)

Prashant K. Khetan, Esq., Chief Executive Officer & General Counsel, **Born Free USA** (ボーン・フリーUSA、CEO & 顧問弁護士)

Chris Mercer, Director, **Campaign Against Canned Hunting** (キャンド・ハントに反対するキャンペーン、取締役)

Sarah Uhlemann, International Program Director & Senior Attorney, **Center for Biological Diversity** (生物多様性センター、国際プログラムディレクター&上席弁護士)

Rob Brandford, Executive Director, **The David Sheldrick Wildlife Trust** and iworry Campaign (デイビッド・シェルドリック野生生物トラスト、執行取締役)

Karen Botha, Chief Executive Officer, **David Shepherd Wildlife Foundation** (デイビッド・シェパード野生生物基金、CEO)

Ofir Drori, Founding Director, **The EAGLE Network** and Founder/Director, **The Last Great Ape Organization** (EAGLE ネットワーク、創設取締役およびラスト・グレート・エイプ・オーガニゼーション、創設者 & 取締役)

Luc Mathot, Co-Founder, **The EAGLE Network** and Director/Founder, **Conservation Justice** (EAGLE ネットワーク、共同創設者およびコンサベーション・ジャスティス、取締役 & 創設者)

Andrea Crosta, Executive Director & Co-Founder, **Elephant Action League** (エレファント・アクション・リーグ、執行取締役 & 創設者)

Kelly Landen, Co-Founder & Program Manager, **Elephants Without Borders** (国境のないゾウ、共同創設者 & プログラムマネージャー)



Petter Granli, President and CEO and Joyce Poole, PhD, Scientific Director, **ElephantVoices** (エレファント・ヴォイス、プレジデント&CEO および科学ディレクター)



Allan Thornton, OBE, President, **Environmental Investigation Agency** (EIA、プレジデント)

Donalea Patman OAM, Founding Director, **For the Love of Wildlife Ltd** (野生生物への愛、Ltd.、創設ディレクター)

Harris Taga, Founder & CEO, **Friends of Maasai Mara** (マサイマラの友、創設者&CEO)



Dr. Christian Felix, Birgit Hampl, and Heike Henderson-Altenstein, Executive Board, **Future for Elephants e.V.** (ゾウの未来、執行役員)

Christine Mulholland, President, **Generation Awakening** (ジェネレーション・アウェークニング、プレジデント)

Rosemary Alles, President and GMFER Core Team, **The Global March for Elephants and Rhinos** (ゾウとサイのグローバルマーチ、プレジデント&GMFER コアチーム)



Michael O'Sullivan, Chairman & CEO, **The Humane Society of Canada** (カナダ人道協会、会長&CEO)

Iris Ho, Program Manager – Wildlife, **Humane Society International** (国際人道協会、野生生物マネージャー)

Dr. Toni Frohoff, Elephant Scientist, **In Defense Of Animals** (イン・ディフェンス・オブ・アニマルズ、ゾウ研究者)

Grace Ge Gabriel, Asia Regional Director, **International Fund for Animal Welfare** (国際動物福祉基金、アジアリジョナルディレクター)



Masayuki Sakamoto, Executive Director, **Japan Tiger and Elephant Fund** (日本トラ・ゾウ基金、執行取締役)

Motokazu Ando, President, **Japan Wildlife Conservation Society** (野生生物保全論研究会、プレジデント)



Zak Smith, Director, Wildlife Trade Initiative, **Natural Resources Defense Council** (自然資源防衛協議会 (NRDC)、野生生物取引イニシアチブ取締役)



Barbara Mackraz, Founder & CEO, **OliveSeed Foundation** (オリブ・シード基金、創設者&CEO)

Dr. Christoph Schmidt, Chair of the Board, **ProWildlife** (プロ・ワイルドライフ、会長)

Thomas Töpfer, Chairman, **Rettet die Elefanten Afrikas e.V.** (アフリカゾウの保護 e. V.、会長)

Charlotte Nithart, Director, **Robin des Bois** (ロビン・デュ・ボワ、取締役)

Frank Pope, Chief Executive Officer, **Save the Elephants** (セーブ・ザ・エレファント、CEO)

Trevor Jones, PhD, Director, **Southern Tanzania Elephant Program** (南タンザニアゾウプログラム、取締役)

Ann Michels, Executive Director, **Species Survival Network** (スピーシーズ・サバイバル・ネットワーク、執行取締役)

Airi Yamawaki and Dr Asuka Takita, Co-Founders and Co-Directors, **Tears of the African Elephant** (アフリカゾウの涙、共同創設者、共同創設者&取締役)

Peter Knights, Chief Executive Officer, **WildAid** (ワイルドエイド、CEO)

Felix Olusola Abayomi, Founder and CEO, **Wildlife of Africa Conservation Initiative** (アフリカ野生動物保護イニシアチブ、創設者&CEO)

Dr. Paula Kahumbu, Chief Executive Officer, **WildlifeDirect** (ワイルドライフ・ディレクト、CEO)

Julie Sherman, Executive Director, **Wildlife Impact** (ワイルドライフ・インパクト、執行取締役)

Belinda Wright, OBE, Executive Director, **Wildlife Protection Society of India** (インド野生動物保護協会、執行取締役)

Alesia Soltanpanah, Executive Director, **World Animal Protection US** (アメリカ世界動物保護、執行取締役)

CC: シニアエグゼクティブバイスプレジデント執行役員&COO 川邊 健太郎殿

取締役 宮内 健殿

取締役 ジョナサン・ブロック殿

社外取締役 アーサー・チョン殿

社外取締役 アレクシ・A・ウェルマン殿

副社長執行役員・CFO 大矢 俊樹殿

執行役員・副社長・顧問弁護士 別所 直哉殿

北米地域統括責任者 Mr. Toshiaki Chiku

執行役員・副社長・SR 推進統括本部長 西田 修一殿

